

平成 18 年度ホタテガイ採苗情報 (第 8 報)

平成 18 年 7 月 25 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「唐丹湾では、採苗器 1 袋当たり 18,000 個の付着」

1 稚貝の付着状況 (7/25、唐丹湾)

水深 10m 層に、4 月 26 日から 3 カ月間、5 月 10 日から 2.5 カ月間、5 月 24 日から 2 カ月間、6 月 8 日から 1.5 カ月間、6 月 21 日から 1 カ月間にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。

付着数は、それぞれ 7,375 個/袋、11,249 個/袋、17,651 個/袋、4,209 個/袋、1,355 個/袋でした。

5 月 24 日に投入した採苗器では、付着数の最も多かった平成 16 年 (付着数：18,178 個/袋) の値とほぼ同じでした。

4 月 26 日、5 月 10 日および 5 月 24 日に投入した採苗器には、殻長 6 mm 以上の個体が必要数以上付着しています。

なお、害敵生物は、5 月 10 日に投入した採苗器でコツブムシが 1 個/袋確認されただけでした。また、4 月 26 日に投入した採苗器には、ムラサキイガイとキヌマトイガイが非常に多く付着していました。

2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの調査結果から、今年の釜石地区の付着のピークは 6 月中旬で、採苗器の投入適期は 5 月中旬であったと考えられます。

唐丹湾のように付着数の多い地区では、採苗器内が過密状態になり、稚貝の成長が停滞したり、稚貝が弱る可能性があります。

付着稚貝の数とサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した採苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

その他の注意事項は、「ホタテガイ養殖の手引き」を参考にしてください。

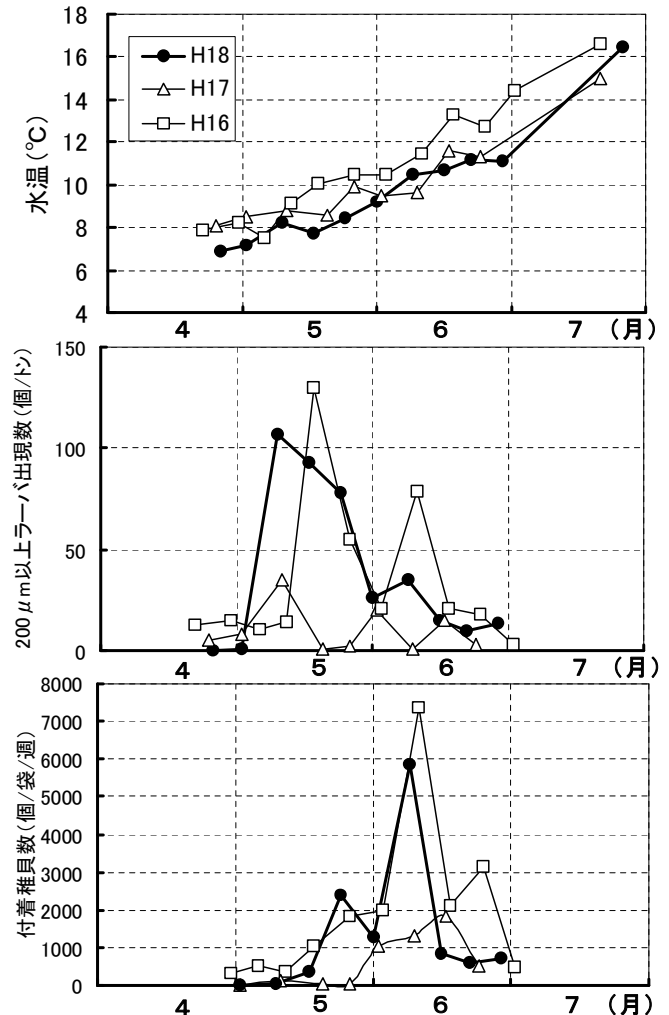


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラバー・付着稚貝の出現状況

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況(平成18年7月25日)

投入月日	付着稚貝(個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月26日	363	2,656	3,470	779	91	16	7,375
5月10日	563	3,767	4,780	1,759	319	61	11,249
5月24日	751	5,766	7,997	2,996	139	1	17,651
6月8日	597	2,288	1,305	19	0	0	4,209
6月21日	335	951	65	4	0	0	1,355

注 殻長1mm以上の個体について測定

今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。